安全･安心まちづくり推進室通信

平成２９年７月２１日
大分県警察本部

平成29年上半期の犯罪情勢

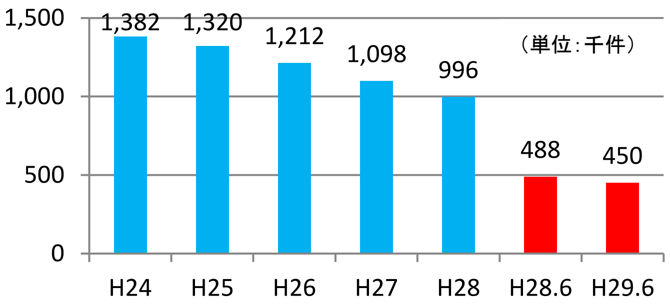
刑法犯認知件数は、今年も減少傾向にあります。前年同期比で、全国では－7．9%減、大分県では－2．6%減となっています。

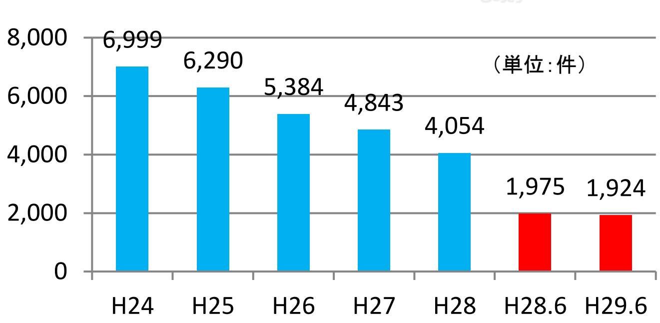
夏は薄着の方が多くなり、わいせつ事案の増加が懸念されます。十分に注意してください。

〈小･中･高生に対する声かけ対策〉

最近街中で、昼間から、堂々と子供達が声かけされる事案が発生しています。
声かけを受けた時の対策について、お子さんとしっかり話をしてください。

1　刑法犯認知件数の推移



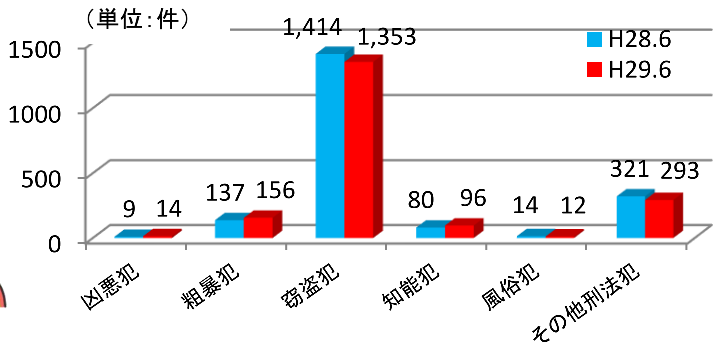


○　大分県の刑法犯認知件数は、平成15年の1万7，362件をピークに13年連続減少しており今年も減少傾向にあります。

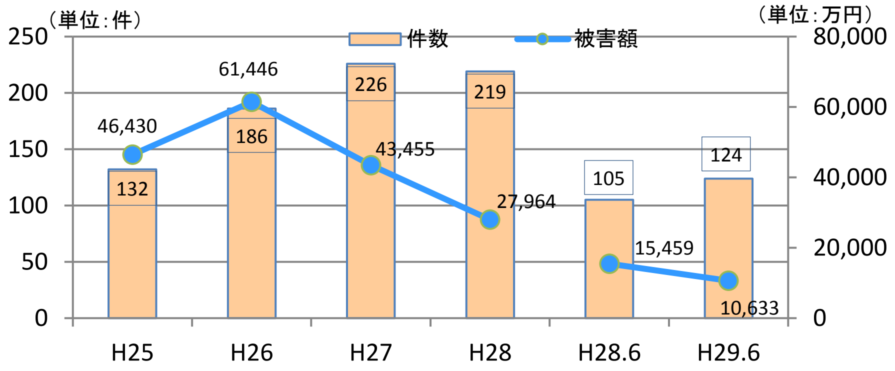
2　大分県の刑法犯罪種別認知件数（H29上半期）

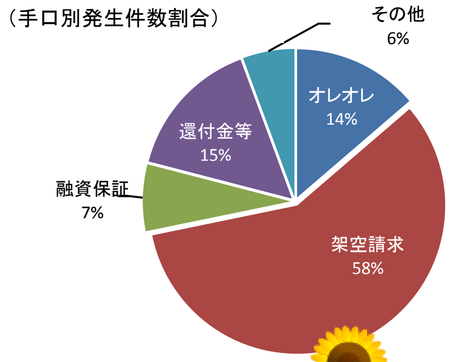
○　刑法犯のうち最も多く発生しているのが窃盗犯です。自転車盗と万引きで窃盗犯全体の半数以上を占めています。

○　凶悪犯（殺人、強盗、放火、強姦）、粗暴犯（暴行、傷害、脅迫等）、知能犯（詐欺、横領等）がそれぞれ増加しています。



3　大分県の特殊詐欺被害発生状況（H29上半期）





○　被害額は減少傾向ですが、発生件数は高止まりの状況が続いています。
○　手口別発生件数割合では、架空請求詐欺被害が約6割を占めています。
○　被害者の約6割を高齢者（65歳以上）以外が占めており、若い方も注意が必要です。

災害に便乗した詐欺に注意！！

今月上旬に大分県と福岡県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨は、日田市や福岡県朝倉市等に甚大な被害を及ぼし、現在も多数の方々が避難生活を送られています。

この様な大規模な自然災害が発生した後には、災害に便乗した義援金・寄付金などをかたった詐欺の発生が懸念されます。

お金等を求める訪問や電話等があった場合には、落ち着いて相手方をよく確認し、被害に遭わないように十分注意するとともに、警察へ通報、相談をしてください。

～過去の災害時に見られた事例～

- ○ 市役所などの公的機関職員を装って家庭を訪問し、募金を求めたもの。
- ○ 市役所などの公的機関職員を名乗って電話をかけ、「義援金を送る活動をしている。支払い方法は振込です。」等と言って振り込ませようとしたもの。
- ○ 実在する団体の名称をかたって、「災害支援基金への寄付をお願いします。」等という文面のファックスを送信し当該団体が設けた募金振込口座とは異なる個人名の口座に振り込ませようとしたもの。
- ○ 公的機関と紛らわしい名称をかたって電話をかけ、「避難地確保のため寄付してください。」等と言って現金を振り込ませようとしたもの。
- ○ 災害に絡んで電気・ガス設備の点検・修理名目で現金を求めたもの。
- ○ 被災地にいる身内を装った電話で現金を求めたもの。
- ○ 被災者を装い、インターネットの掲示板で、「支援して欲しい」等と書き込み、現金を求めたもの。
- ○ 自宅を訪問し、「不要な指輪やネックレスがあれば、換金して被災地に寄付するので譲って欲しい。」等と言って貴金属を求めたもの。

注意のポイント！！

☆ 公的機関・団体が、一般家庭に対して、個別に電話・ファックス・訪問等によって義援金等の振込を求めることは通常ありえません。相手方が告げた機関・団体に対し、電話帳で調べた電話番号に電話する等して確認してください。

☆ 実在する団体等を名乗って個別に寄付などの働きかけがあった場合には、当該団体がテレビ・ラジオ・新聞等で公表している口座番号・名義と同一であるか確認するなど、本当にその団体による募金なのか、また信用できる団体なのかを十分に確認してください。

災害に関連してお金を求める電話や訪問があった場合には、

- ・ 落ち着いて、相手をよ確認する
- ・ 一人で行動する前に、家族や知人、警察に相談する

などして詐欺の被害に遭わないよう十分にご注意ください。

ご家族やお近くの方々にも、この内容を伝え、みんなで被害を防止しましょう！！